

2025/4/15

日本財団

会長 笹川 陽平 殿

<事業報告書>

精神科医療機関における精神障害者の就労支援プログラムに関する調査研究等

4. フォーラムの実施

東京都立病院機構 東京都立松沢病院

標題につきまして、下記の通り報告いたします。

■事業内容（予定）

- （１）時 期：2024 年 11 月
- （２）場 所：松沢病院
- （３）参加者：200 名（医療関係者、患者、家族、ボランティア、就労関係者等）
- （４）内 容：当事者の活動発表、地域企業の就労案内

■事業内容（完了時）

- （１）時 期：2025 年 2 月 18 日（火）13：30～16：45
- （２）場 所：松沢病院本館診療棟 2 階 大会議室
- （３）参加者：82 名（医療関係者、行政、福祉、地域支援機関等）
- （４）内 容：基調講演、就労支援プログラムの概要、就労支援プログラムの取り組み、パネルディスカッション、質疑応答、資料館見学

I. 基調講演について

テーマ：働くことの喜び～パーソナル・リカバリーを目指して～

担当者：松沢病院 院長 水野雅文

II. 松沢病院就労支援プログラムの概要

担当者：青木（精神保健福祉士）、高橋（心理士）

内 容：就労支援プログラムを開始するに至る背景を紹介

III. 就労支援プログラムの取り組み

担当者：香川（作業療法士）

内 容：実際に提供されているプログラム内容や院内実習について紹介

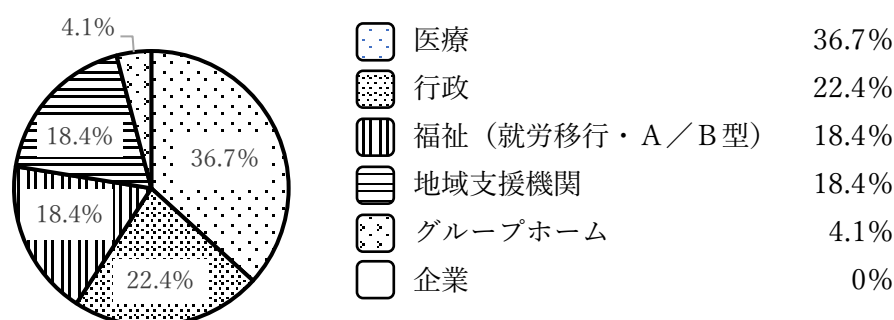
#### IV. パネルディスカッション

担当者：林（看護師）、橋本（作業療法士）

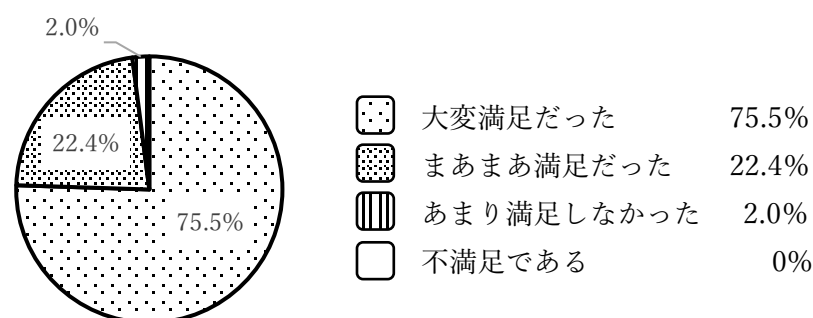
内 容：院内実習まで参加された方から就労支援プログラムに関する体験談をパネルディスカッション形式で実施

#### V. フォーラムアンケート集計結果について 回答数：49 名（回収率 59.8%）

##### Q1：参加者の属性について



##### Q2-1：満足度について



##### Q2-2：満足度の理由について（一部抜粋）

- ・先駆的な取り組みと参加者の声を聞くことができたから
- ・精神科医療機関における就労支援の考え方を知ることができ、視野が広がった
- ・当事者の新たな可能性を切り拓くプログラムだと思うので、全国に広がってほしい
- ・精神のバイオニアである松沢病院の多職種、多機関連携を期待したいため
- ・地域の支援機関としてどのようなことができるのか考えるきっかけを頂いたように思う
- ・デイケアは通う所というイメージが強く、ここから働くことに結びつきにくいと思っていた。今回参加してデイケアを考えている人に松沢病院を勧めたいと思うほどに自分の考えが良い方向に変わった。
- ・当院のデイケアでも就労支援を検討していたため大変参考になったから
- ・松沢就労パスというものがとても興味深いと感じた

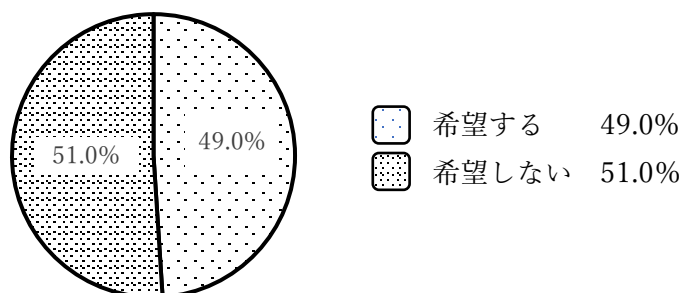
Q3-1：最も印象に残った内容について



Q3-2：最も印象に残った内容の理由について（一部抜粋）

- ・実際に参加された方の生の意見を伺うことができたから
- ・実際の体験談を通して、メンバーが就労に至るまでに直面しやすい課題や、本人がどのようにして就労に至るまでの自信を得たのか、その過程が理解しやすく、支援者側として、どのような観点でメンバーに接するべきかを理解する一助となったから
- ・アセスメントからプログラム内容について、具体的でわかりやすく参考になった
- ・目的志向的で、ご本人にとって意味のあるプログラムは、モチベーションを向上し、前向きな取り組みを促進することを、ひとりひとりのコメントから改めて思わされた
- ・通常のデイケアや就労移行支援事業所とどう異なるのか、違いが伝わってきたため
- ・就労後もデイケアとしてフォローしてもらえるのはありがたいと感じた
- ・より重度の方にも一般就労の門が開かれるきっかけになるのだなと感じた
- ・働きたい気持ちはあるけど自信がないという方もいらっしゃると思うので、デイケアという本人にとって居場所となるところで就労まで支えてもらえるのは安心だと思った
- ・今後就労されてからの定着についても伺ってみたいと感じた

Q4：今後の当院との連携希望について（実習・就職先として）



#### <連携希望先一覧>

国立精神・神経医療研究センター病院、都立墨東病院、平川病院(デイケア)、東京足立病院、葛飾区障害者就労支援センター、国立市しょうがいしゃ就労支援センター、就労支援室ライズ、ワークサポート杉並、世田谷区玉川福祉事務所、世田谷区烏山総合支所保健福祉センター生活支援課、ハローワーク渋谷専門援助第二部門、足立区障がい福祉センター雇用支援室、大田区立障がい者総合サポートセンター、あるか世田谷（グループホーム）、ウェルビー渋谷センター、ユースタイルワークス中野坂上、NPO 法人 SUN、喫茶室パイン、特定非営利活動法人 工房「風」、ほっとナビ訪問看護ステーション

#### Q5：自由記述欄より

- ・働くことを諦めている人、自信を失っている患者さんは少なくないことと思う。人生の可能性を探る動機づけ支援として、このプログラムは興味深く、面白いと思った
- ・スタッフの皆さんのゴールまで伴走したいという熱意が伝わってきた
- ・就労支援を求める方の中にはその中心課題が生活支援にある場合もしばしば見受けられ、未だ医療のサポートを強く必要とし、連携が必要な場合も多い。そうした時、このデイケアでの実践の様に、医療的アプローチとして(認知)機能回復を図ることと、就労支援とを一体的に行えるサービスは有効だと思った。多職種で構成されているチームアプローチも医療機関だから可能なことでしょう。今後の実践に期待しております。
- ・就労パスについてはどの病院でも一定のプログラムを受ければ発行できる仕組みになっていくと面白いと思った
- ・就労支援を病院自らがサポートしてくれることは患者にとって最も心強く感じるだろうと思った

#### VI. 総括

就労支援フォーラムは様々な機関の方々に参加頂け、非常に満足度の高い結果となった。参加者の感想からも、本プログラムが就労を諦めている精神障害者の一般就労の門が開かれるきっかけになる可能性の指摘や松沢就労パスなどの仕組みが全国に広がって欲しいという要望が伺われ、本事業の目的である「当院の取り組みが全国の精神科医療機関に波及し、医療機関における就労プログラムが開始、実践され、精神障害者が働きやすい社会の実現」に向けた大きなきっかけになったと考えている。今後も各機関との連携を深めながらデイケア利用者の就労、職場定着支援を充実させていくことを目指す。

以上